

## 1 コミュニティバスの本格運行について

### (1) 目的・必要性

本町の公共交通機関は、JRが幕別・帯広間において、1日14往復運行されている。また、路線バスについては、十勝バス(株)が帯広陸別線、幕別線、南商あかしや線及び広尾線の4路線を運行しており、JR、路線バスともに、通学や帯広市への通院、買物等で利用される学生や高齢者にとって重要な交通機関となっている。

しかしながら、市街地内には公共交通機関を利用できない地域が多く存在し、自家用車による移動が困難な高齢者や障がい者、運転免許を持たない方などは、地域公共交通がなければ「移動」が制約され不便な生活を強いられることとなり、地域社会を維持していくためには大きな障壁となってきた。

今後も、加速化する高齢化の中で、クルマを運転しない高齢者はますます増加していくものと予想され、地球環境に優しいまちを築いていく上でも、地域公共交通の役割は重要性を増し、「費用対効果」の観点のみではなく、「福祉」の観点からも考える必要がある。

このようなことから、高齢者等交通弱者の交通機関の確保を目的とした、町内の公共施設や医療機関及び買物施設等を利用するための交通手段として、幕別・札内両市街地を循環するコミュニティバスを運行する。

### (2) 運行開始日

平成25年10月1日から

※運休日については、今後協議する。

### (3) 運行事業者

道路運送法第4条の規定により、国土交通大臣から一般乗合旅客自動車運送事業の許可を受けた事業者。

### (4) 使用車両

幕別・札内線ともに中型バス（ノンステップ型車両）による運行とする。

※中型バス：(定員30人以上49人以下)

### (5) 乗車運賃

今年度の試験運行の結果を踏まえ、中学生以上：100円、小学生：50円、乳幼児：無料、通学のために利用する小中学校の児童生徒：無料を基本に、今後更に協議する。

回数券の発行等についても今後協議する。

(6) 運行経路及び運行時刻

今年度の試験運行の結果を踏まえ、11月の試験運行の路線・運行時刻を基本に、今後更に協議する。

(7) 運行経費試算（別紙1）

幕別線コミュニティバス運行経費試算表（バス車両の場合）

別紙 1-1

①コミュニティバス幕別線 車両形態：事業者所有	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	合計	参考 6年目以降
○運行経費 X	14,304,734	13,544,987	13,544,987	13,544,987	13,544,987	68,484,682	8,655,179
うち、運行経費分	9,414,926	8,655,179	8,655,179	8,655,179	8,655,179	44,035,642	8,655,179
うち、車両減価償却分	4,889,808	4,889,808	4,889,808	4,889,808	4,889,808	24,449,040	0
運賃収入（3人/便） A	△ 547,500	△ 547,500	△ 547,500	△ 547,500	△ 547,500	△ 2,737,500	△ 547,500
国庫補助金（運行補助） B	△ 1,922,000	△ 1,922,000	△ 1,922,000	△ 1,922,000	△ 1,922,000	△ 9,610,000	△ 1,922,000
国庫補助金（車両補助） C	△ 3,150,000	△ 1,890,000	△ 1,134,000	△ 680,000	△ 408,000	△ 7,262,000	0
※町負担額 Y（X-A-B-C）	8,685,234	9,185,487	9,941,487	10,395,487	10,667,487	48,875,182	6,185,679
Yのうち特別交付税措置額 y（Y×0.8）	△ 6,948,187	△ 7,356,389	△ 7,961,189	△ 8,324,389	△ 8,541,989	△ 39,132,143	△ 4,948,543
※実質町負担額 Z（Y-y）	1,737,047	1,829,098	1,980,298	2,071,098	2,125,498	9,743,039	1,237,136
バス停設置費用（11,520円/箇所） ア	334,080	0	0	0	0	334,080	0
時刻表・チラシ等作成費用等 イ	0	0	0	0	0	0	0
※町負担額合計 Z+ア+イ	2,071,127	1,829,098	1,980,298	2,071,098	2,125,498	10,077,119	1,237,136
※1年目の運行経費は、車両取得に要する自動車取得税等により2年目以降に比べて増額となっている。 ※国庫補助金（運行補助）の補助率は、補助対象経費（経常費用－経常収益）の1/2となっている（標準経常費用が上限）。							
②コミュニティバス幕別線 車両形態：町所有で業者に貸与	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	合計	参考 6年目以降
○運行経費 X	8,655,179	8,655,179	8,655,179	8,655,179	8,655,179	43,275,895	8,655,179
運賃収入（3人/便） A	△ 547,500	△ 547,500	△ 547,500	△ 547,500	△ 547,500	△ 2,737,500	△ 547,500
国庫補助金（運行補助） B	△ 1,922,000	△ 1,922,000	△ 1,922,000	△ 1,922,000	△ 1,922,000	△ 9,610,000	△ 1,922,000
※町負担額 Y（X-A-B）	6,185,679	6,185,679	6,185,679	6,185,679	6,185,679	30,928,395	6,185,679
Yのうち特別交付税措置額 y（Y×0.8）	△ 4,948,543	△ 4,948,543	△ 4,948,543	△ 4,948,543	△ 4,948,543	△ 24,742,715	△ 4,948,543
※実質町負担額 Z（Y-y）	1,237,136	1,237,136	1,237,136	1,237,136	1,237,136	6,185,680	1,237,136
車両取得費 ア	22,917,080	0	0	0	0	22,917,080	0
バス停設置費用（11,520円/箇所） イ	334,080	0	0	0	0	334,080	0
時刻表・チラシ等作成費用等 ウ	0	0	0	0	0	0	0
※町負担額合計 Z+ア+イ+ウ	24,488,296	1,237,136	1,237,136	1,237,136	1,237,136	29,436,840	1,237,136
※町負担額比較 Z ①-②	△ 22,417,169	591,962	743,162	833,962	888,362	△ 19,359,721	0

札内線コミュニティバス運行経費試算表（バス車両の場合）

別紙1-2

①コミュニティバス札内線 車両形態：事業者所有	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	合計	参考 6年目以降
○運行経費 X	15,615,148	14,855,401	14,855,401	14,855,401	14,855,401	75,036,752	9,965,593
うち、運行経費分	10,725,340	9,965,593	9,965,593	9,965,593	9,965,593	50,587,712	9,965,593
うち、車両減価償却分	4,889,808	4,889,808	4,889,808	4,889,808	4,889,808	24,449,040	0
運賃収入（5人/便） A	△ 912,500	△ 912,500	△ 912,500	△ 912,500	△ 912,500	△ 4,562,500	△ 912,500
国庫補助金（運行補助） B	△ 4,526,000	△ 4,526,000	△ 4,526,000	△ 4,526,000	△ 4,526,000	△ 22,630,000	△ 4,526,000
国庫補助金（車両補助） C	△ 3,150,000	△ 1,890,000	△ 1,134,000	△ 680,000	△ 408,000	△ 7,262,000	0
※町負担額 Y（X-A-B-C）	7,026,648	7,526,901	8,282,901	8,736,901	9,008,901	40,582,252	4,527,093
Yのうち特別交付税措置額 y（Y×0.8）	△ 5,621,318	△ 6,021,520	△ 6,626,320	△ 6,989,520	△ 7,207,120	△ 32,465,798	△ 3,621,674
※実質町負担額 Z（Y-y）	1,405,330	1,505,381	1,656,581	1,747,381	1,801,781	8,116,454	905,419
バス停設置費用（11,520円/箇所） ア	1,428,480	0	0	0	0	1,428,480	0
時刻表・チラシ等作成費用等 イ	260,820	0	0	0	0	260,820	0
※町負担額合計 Z+ア+イ	3,094,630	1,505,381	1,656,581	1,747,381	1,801,781	9,805,754	905,419
※1年目の運行経費は、車両取得に要する自動車取得税等により2年目以降に比べて増額となっている。 ※国庫補助金（運行補助）の補助率は、補助対象経費（経常費用－経常収益）の1/2となっている（標準経常費用が上限）。							
②コミュニティバス札内線 車両形態：町所有で事業者に貸与	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	合計	参考 6年目以降
○運行経費 X	9,965,593	9,965,593	9,965,593	9,965,593	9,965,593	49,827,965	9,965,593
運賃収入（5人/便） A	△ 912,500	△ 912,500	△ 912,500	△ 912,500	△ 912,500	△ 4,562,500	△ 912,500
国庫補助金（運行補助） B	△ 4,526,000	△ 4,526,000	△ 4,526,000	△ 4,526,000	△ 4,526,000	△ 22,630,000	△ 4,526,000
※町負担額 Y（X-A-B）	4,527,093	4,527,093	4,527,093	4,527,093	4,527,093	22,635,465	4,527,093
Yのうち特別交付税措置額 y（Y×0.8）	△ 3,621,674	△ 3,621,674	△ 3,621,674	△ 3,621,674	△ 3,621,674	△ 18,108,370	△ 3,621,674
※実質町負担額 Z（Y-y）	905,419	905,419	905,419	905,419	905,419	4,527,095	905,419
車両取得費 ア	22,917,080	0	0	0	0	22,917,080	0
バス停設置費用（11,520円/箇所） イ	1,428,480	0	0	0	0	1,428,480	0
時刻表・チラシ等作成費用等 ウ	260,820	0	0	0	0	260,820	0
※町負担額合計 Z+ア+イ+ウ	25,511,799	905,419	905,419	905,419	905,419	29,133,475	905,419
※町負担額比較 Z ①-②	△ 22,417,169	599,962	751,162	841,962	896,362	△ 19,327,721	0